

## 〔選択科目：循環器内科〕

### 1．研修内容

内科研修を基本として循環器疾患に対する、より専門的な診断・治療法について研修する。研修期間は1～8ヶ月。

### 2．一般目標

主要な循環器疾患診療の経験を積み、循環器科として通常行われる診断・治療法について専門医の指導の下に経験する。

### 3．行動目標

循環器疾患の救急患者の診断の進め方及び治療を経験する。

循環器疾患の知識の修得に努める。

専門的検査・治療を指導の下で施行する。

例) 心臓カテーテル検査(あくまで研修医の習熟度に応じて進めていく)

1～2ヶ月目: 検査を見学し手順や注意点を把握する。

3～4ヶ月目: 手洗いをし、助手もしくは穿刺(シース挿入)を行う。

5～6ヶ月目: カテーテル操作

### 4．研修目標

#### (1) 経験した方がよい主要疾患

心不全

不整脈(頻脈性不整脈、徐脈性不整脈)

高血圧症(本態性高血圧症、二次性高血圧症)

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)

弁膜疾患(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)

心筋疾患(心筋炎、心筋症)

感染性心内膜炎

心膜疾患(急性心膜炎)

動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離、動脈硬化症)

静脈・リンパ管疾患(深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫)

#### (2) 研修すべき主な診断・検査法(\*)

心電図(運動負荷心電図、Holter心電図)

心臓超音波検査(Mモード・断層心エコー図、ドプラ心エコー図)

心臓核医学検査(心筋血流シンチ)

心血管造影（冠動脈造影、左室造影、大動脈造影）

カテーテル検査（Swan-Ganz カテーテル検査、心(左・右)カテーテル検査）

( 3 ) 研修すべき手技・治療法（\*）

電氣的除細動、心膜穿刺術、大動脈内バルーンパンピング、

一時的心臓ペースング、ペースメーカー植え込み

（\*）研修医の習熟度や適応例が無い場合、施行・経験できない可能性もあり得る。

## 5 . 研修実績

入院患者数：10-20 人/月程度。

救急外来患者：20-30 人/月程度。